

事業の背景・目的



・地域の生態系、人体、農業に被害を及ぼす可能性のある外来生物の侵入や定着を防止することを目的とする。具体的には関係機関の連絡体制の構築、県民に対する正確な情報提供による注意喚起などを行なうことで、県内未定着の外来生物の早期発見・早期防除を目指す。

事業の内容

ア コンテナ取扱事業者への指導強化事業

・ヒアリ等の早期発見・早期防除のため、港湾関係者、行政職員等を対象とした外来アリセミナーを開催した。



イ 早期発見・通報・駆除体制構築事業

県内市町等連絡会議

・早期発見・早期防除等を推進するため、各種対策連絡会議を開催した。

ガイドラインの作成

・ナガエツルノゲイトウのパンフレット、クビアカツヤカミキリ防除指針を作成した。ヒアリ、クビアカツヤカミキリのパンフレットを配布した。

外来生物セミナーの開催

・行政職員、関係機関、民間企業、NPO団体、一般県民等を対象とした外来生物セミナーを開催した(クビアカツヤカミキリ、ナガエツルノゲイトウ)。

ため池の外来生物調査及び駆除、啓発

・オオクチバス等をかいはりの前後で環境DNAで調査し、駆除完了を確認した。また参加者へ環境学習を実施した。

クビアカツヤカミキリ検討会

・県内未侵入のクビアカツヤカミキリ対策として県関係部署、学識経験者との連携を図り、啓発、通報体制、初動対応等を検討した。

緊急用薬剤等の配備

・外来アリに対し早期発見のため、スマホ用拡大レンズを購入し、41市町、7県民局に配備を行った。

クビアカツヤカミキリ侵入状況現地調査

・実際の公園にてクビアカツヤカミキリ侵入状況現地調査及び点検講習を実施し、公園管理者に対して指導できた。

ナガエツルノゲイトウ調査レポートと計画策定提案

・初期侵入地の淡路にて、分布調査まとめとそれに基づいた防除計画を策定した。

得られた成果

- ・県内市町等対策連絡会議により、県内41市町、関係部署、関係団体等との連絡体制の構築ができ、外来生物についての理解が進んだ。
- ・ナガエツルノゲイトウパンフレット、クビアカツヤカミキリ防除指針を作成した。ヒアリ、クビアカツヤカミキリのパンフレットを配布。
- ・外来生物セミナーの開催により、外来生物を発見した場合の対処方法を普及啓発することができた(R2開催セミナー参加者合計92人)。
- ・ため池に生息するオオクチバス等をかいはりの前後で環境DNAで調査し、駆除完了を確認した。また参加者へ環境学習を実施した。
- ・クビアカツヤカミキリ検討会の開催により今後の対策方針や各関係部署がすべきこと、啓発、通報体制、初動対応等の整理ができた。
- ・外来アリに対し早期発見のため、スマホ用拡大レンズを購入し、41市町、7県民局に配備を行った。
- ・実際の公園にてクビアカツヤカミキリ侵入状況現地調査及び点検講習を実施し、公園管理者に対して指導できた。
- ・初期侵入のナガエツルノゲイトウ調査レポートと計画策定提案の分布調査まとめとそれに基づいた防除計画を策定提案した(3ヵ年計画)。